

国会における審議状況

昭和30年代～ 学識経験者や研究機関等から遷都・分都等の多くの提言

平成2年11月 国会等の移転に関する決議（衆参両院採択）

- ・東京一極集中の排除
- ・21世紀にふさわしい政治・行政機能の確立

平成3年8月 国会等の移転に関する特別委員会設置（衆参両院）

平成4年12月 国会等の移転に関する法律

- ・国会等の移転の具体化に向けての国の検討責務
- ・国が検討を行う上での指針
- ・国会等移転調査会の設置

平成5年4月～平成7年12月 国会等移転調査会

- ・移転の意義・効果、移転先の選定基準等を取りまとめ

平成8年6月 国会等の移転に関する法律の一部改正

- ・移転先候補地の選定等
- ・国会等移転審議会の設置

平成10年3月 21世紀の国土のグランドデザイン（新しい全国総合開発計画）

- ・首都機能移転は、……国土政策上極めて大きな効果を有するもの……具体化に向けて積極的に検討を進めるべきである。

平成8年12月～平成11年12月 国会等移転審議会

- ・平成11年12月 移転先候補地の答申
移転先候補地として、北東地域の「栃木・福島地域」又は東海地域の「岐阜・愛知地域」を選定する。
「三重・畿央地域」は、他の地域にはない特徴を有しており、将来新たな高速交通網等が整備されることになれば、移転先候補地となる可能性がある。

衆議院特別委員会

平成12年5月18日 国会等の移転に関する決議
「答申を踏まえ、移転先候補地の絞り込みを行い、2年を目途にその結論を得る」

平成12年11月17日 参考人質疑
福島県知事が出席

平成13年7月3日 現地調査の実施
栃木・福島地域

平成13年11月28日 参考人質疑
福島県知事が出席

平成14年1月21日～7月31日 審議

平成14年7月25日
今後の運営等に関する申し合わせ

1. 移転規模、形態、手法などのコンセプト見直し検討を早急に行う。
2. 平成15年の通常国会本会議において移転を行うか否かを決議する。
3. 検討を円滑に進めるため、特別委の委員構成はなるべく多数とし、3候補地出身議員が半数程度、その他地域出身議員も半数程度とする。

参議院特別委員会

平成13年1月16～17日 現地視察
栃木・福島地域

平成13年11月15日 参考人質疑
福島県商工会議所連合会会長が出席

平成14年7月29日 与党三党首会談における合意

- 首都機能移転問題については、社会、経済、国民意識等諸事情の変化を重く受け止め、次期通常国会において結論を得よう努力する。

平成14年10月16日 衆議院調査局による「予備的調査報告」
移転の規模・形態等の見直し、PFIの活用等について報告がなされた。

平成15年5月23日 理事懇談会
12年にわたる審議経過や委員会としての考え方を取りまとめた「中間報告」案がまとまる。

平成15年5月28日
「国会等の移転に関する中間報告書」案を採択

1. 委員会の大半の意見は「移転を実現すべし」。
2. 「分散移転」の新たな発想が示された。
3. 衆・参両院の密接な連携の下に検討を進め結論を得よう要請。

平成15年6月9日 理事懇談会
12年にわたる審議経過や委員会としての考え方を取りまとめた「中間報告」案がまとまる。

平成15年6月11日
「国会等の移転に関する調査報告（中間報告）」案を採択

1. 防災対応機能、危機管理機能の中核を優先して移転させるとともに、その他の機能についても、移転先を決定し、移転を実現すべし。
2. 衆・参両院の密接な連携の下に議論を進めることが必要。

国会における審議状況

国会等の移転に関する政党間両院協議会

平成15年6月16日 第1回会議

- ・衆議院11名（座長：佐藤静雄(自民)、副座長：藤村 修(民主))
- ・参議院11名（座長：沓掛哲男(自保)、副座長：山下八洲夫(民主))

(合意事項)

1. 衆参それぞれに座長・副座長を選び、座長は毎回衆参交替で務める。
2. 協議事項は移転について国会の意思を問う方法とする。
3. 次回は時期未定だが、衆参の中間報告についてそれぞれの事務局から説明を受ける。

平成15年7月9日 第2回会議

衆参特別委員会の「中間報告」に対する質疑応答。

平成15年10月3日 第3回会議

衆議院特別委員会の海外視察(7月31日～8月7日、韓国、オランダ、スウェーデン)に対する質疑応答。

平成15年11月26日 第4回会議

衆議院・赤城自民党国対副委員長及び参議院・沓掛座長から、次期通常国会までに正式なメンバーを決めて議論を進めていく旨の話あり。

平成16年2月19日 第5回会議

新メンバーの選出とこれまでの経過説明が行われた。

- ・衆議院11名（座長：赤城徳彦(自民)、副座長：一川 保夫(民主))
- ・参議院11名（座長：沓掛哲男(自民)、副座長：山下八洲夫(民主))

平成16年4月15日 第6回会議

「国会の意思を問う方法」等について、フリーディスカッション。

平成16年5月28日 第7回会議

「国会の意思を問う方法」等について、フリーディスカッション。

平成16年11月18日 第8回会議

新メンバーの選出とこれまでの経過説明が行われた。

- ・衆議院11名（座長：鈴木恒夫(自民)、副座長：城島正光(民主))
- ・参議院11名（座長：沓掛哲男(自民)、副座長：山下八洲夫(民主))

平成16年11月25日 第9回会議

これまでの経過説明及びフリーディスカッション。

平成16年12月1日 第10回会議

「国会の意思を問う方法」等について、フリーディスカッション。

平成16年12月16日 第11回会議

有馬朗人元国会等移転審議会会長代理からこれまでの経緯、議論等について説明後、質疑応答。

平成16年12月22日 第12回会議

分散移転や防災、とりわけ危機管理機能（いわゆるバックアップ機能）の中核の優先移転などの考え方を深めるための調査、検討を行うこととする「座長とりまとめ」を了承し、衆参議院運営委員長に両座長名で提出。

平成17年5月18日 第13回会議

「座長とりまとめ」で示された危機管理機能の中核の優先移転について、フリーディスカッション。

平成17年7月25日 第14回会議

危機管理機能の中核の優先移転について調査、研究を行うための予算を平成18年度に要求することについて座長の説明があり、その内容については正副座長に一任。

平成17年10月24日 第15回会議

平成18年度予算要求の内容について説明、了承され、議院運営委員会に報告することとされた。

新メンバー

- ・衆議院11名（座長：鈴木恒夫(自民)、副座長：中川正春(民主))
- ・参議院11名（座長：沓掛哲男(自民)、副座長：山下八洲夫(民主))